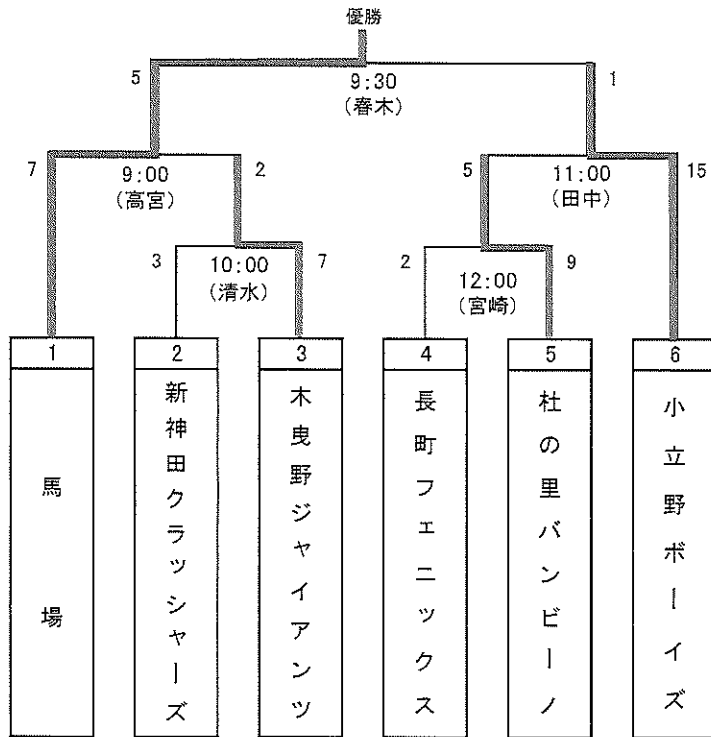


# 令和3年度 第46回金沢市スポーツ少年団春季野球大会

- 主催 金沢市スポーツ少年団
- 後援 金沢市教育委員会、北國新聞社
- 期日 令和3年4月24日(土)・25日(日)・5月1日(土)
- 会場 金沢市戸室スポーツ広場

優勝：馬場  
準優勝：小立野ボーイズ



## 大会規定

- (1) ルールは、2021年度公認野球規則及び全日本軟式野球規則による。又、全日本野球連盟「学童野球に関する事項」を適用する。
- (2) 抽選によるトーナメント方式。  
(但し、夏季大会及び秋季大会は、前大会の優勝及び準優勝チームをシードチームとする。)
- (3) 試合は7イニング、コールドゲームも取り入れる。  
○3回以降10点差、5回以降7点差  
○1時間30分を超えて新しいイニングに入らず、均等回の得点をもって勝敗を決する。
- (4) 決勝のみ試合時間2時間とし、延長は行わない。(点差によるコールドはない)
- (5) 7回あるいは時間終了イニングに同点の場合は、無死満塁にて1イニングで決する。  
(打者は前イニングの次打者とし、その前打者等で塁を埋める)  
決しない場合は、さらに同条件にて1イニング行い、なお決しない場合は抽選とする。
- (6) 5回以後、天候等のため試合不能の場合でも、試合は成立する。
- (7) 試合に対する抗議は、監督のみとする。
- (8) ピッチャーは変化球を投げてはならない。
- (9) ピッチャーの投球回数は1日に70球(4年生以下は60球)とする。なお、規定投球数到達時対戦打者に対してのみ規定投球数を超過の投球を認めるがイニングは跨がない。
- (10) ピッチャーが4年生以下の場合には、ピッチャーズプレートを2メートル前とすることができ、塁間は学年等に関係なく同一とし振り逃げも認める。
- (11) 個人に対するヤジ等は控えること。
- (12) 試合用ボールは公認C号で、本部にて準備する。
- (13) 金属スパイクは禁止する。
- (14) 選手は背番号をつけ、グラウンドに出る者(監督除く)はヘルメットを着用し、さらに、キャッチャーは投球練習時も含め、マスク・プロテクター・チンガード等を着用する。
- (15) 1回戦のみ同団チームは対戦しない。
- (16) 2チーム参加団については、どちらか一方の試合に選手として出場した者は、他方に選手登録できない。ただし、怪我等のやむを得ない事情の場合は、監督、本部員で協議する。
- (17) その他については、監督、本部員で協議して決める。

- ・全試合、試合当事者より塁審・SBO・アナウンスをだす。  
(塁審は少年団帽子または少年団審判員用黒帽子着用、短パン・サンダル等審判員に相応しくない格好の禁止。)
- ・ベンチは番号の若いチームが一塁側とする。
- ・一塁側からボールボーイ2名、9塁側はお茶出しをする。

※大会規定とともに別紙「令和3年度少年野球大会の運営について」を適用する。  
なお、本大会については、4月13日現在の石川県における新型コロナウイルス発生状況を鑑み、大会日前2週間以内(4月11日以降)に団員・団指導者及び同人達同居者いずれかにコロナ陽性反応が確認された場合、同団は大会参加を見合わせるものとする。(抽選会決定事項)